brother

本書を良くお読みになって、製品をご利用ください。

ネットワーク設定説明書

●取扱説明書およびCD-ROMは、いつでも参照できるように保管してください。

お客様相談窓口（コールセンター） 0120-143410

本製品の取り扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のダイヤルにお気軽に申し付けください。

■受付時間／9：00〜18：00(土曜日のみ17：00まで)

■営 業 日／月曜日〜土曜日(日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます)

VersionB

目　次

本書のレイアウトについて

参照ページです。
クリックすると、関連する情報が記載されているページに移動します。

大見出しです。

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

中見出しです。

概要

Windows® 2000/XP、Windows NT® の場合は、TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワーク対応ブラザープリンタから TCP/IP で直接印刷することができます。
ネットワークサーバーなどは経由せずに印刷します。

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. プリントサーバーの IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. プリントサーバーの IP アドレスなどを設定します。P.2-3
4. コンピュータにプリンタの関連付けをします。P.2-6

プリントサーバーの設定

TCP/IP を使用して印刷するには、プリントサーバーに IP アドレスを設定します。
コンピュータと同じネットワーク上にプリントサーバーが接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先にプリントサーバーが接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

メモです。



ブラザープリントサーバーの工場出荷時のデフォルトは、次の通りです。
- IP アドレス：169.254.x.x（x.x はプリンタにより自動的に割り当てられます。）
- ドメイン名：WORKGROUP
- パスワード：access

注意項目です。



- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用していない場合は、デフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 になります。
- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。BRAdmin Professional、ウェブブラウザ、または TELNET（SET IP METHOD コマンド）を使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。

小見出しです。

BRAdmin Professional を使用してプリントサーバーを設定する

BRAdmin Professional を使用して、IP アドレスの変更ができます。
ブラザープリントサーバーのデフォルトの IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。

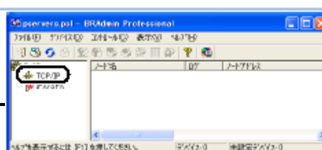
操作手順です。



プリンタをネットワークに接続し、ネットワーク上に接続されたコンピュータから BRAdmin Professional を起動します。



メインウィンドウの左側のフレームで、［フィルタ］の［TCP/IP］を選択します。



操作手順を補足する手順画面やイラストです。

インデックス：第1章 基礎／第2章 Windows／第3章 Macintosh／第4章 PC-FAX／第5章 パネル／第6章 ネットワーク／第7章 トラブル対応／第8章 付録／索引

2-2　LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

大見出しを示します。

ページ番号です。

インデックスです。
現在の章を青色で示します。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書で使われている記号やマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
メモ	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

Brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows および LAN Manager は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh® 、Mac OS® は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
エネルギースターは米国における登録商標です。
Ethernet は Xerox Corporation の商標です。
IBM、LAN Server、および AIX は International Business Machines Corporation の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

はじめに

概要

本機のネットワークインターフェースは、LAN/WAN に 10/100Mbps イーサネット接続できるようになります。付属の管理ユーティリティを使用すると、より簡単に管理できるようになります。本機のネットワークインターフェースの設定を完了すると、LAN などのネットワークを通じて文書を印刷 / スキャンできるようになります。
この取扱説明書では、

- ハードウェアに関する設定には、「ネットワークインターフェース」
- LAN 環境下でプリンティングシステムを指す場合には「ネットワークプリンタ」
- 特定の概念を指す場合には「ネットワークサーバ」

という表記をしています。

特長と機能

ネットワークプリント機能

本機のネットワークインターフェースは、各 OS に以下のプリントサービスを提供しています。

- Windows® 98/Me/2000/XP：TCP/IP プロトコルによるプリントサービス
- Macintosh® ：TCP/IP プロトコルによるプリントサービス

ネットワーク PC-FAX 送信機能

アプリケーションで作成したファイルをファクスとして、送信することができます。あらかじめ PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。

ネットワークスキャン機能（Windows® 98/Me/2000/XP）

白黒またはカラーでスキャンした文書を、ネットワーク上のコンピュータもしくは本機へダイレクトに取り込むことができます。

ネットワークメモリーカードアクセス機能

本機に挿入したメモリーカードにネットワーク経由でアクセスできます。

管理ユーティリティ

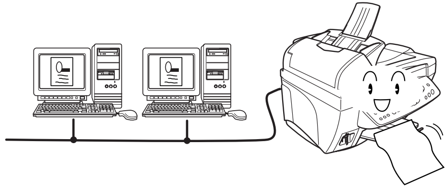
付属の BRAdmin Professional を使用することで、本機のファクス設定、およびネットワークインターフェースの設定を簡単に行うことができます。

やりたいこと目次

あなたの「〇〇したい」から該当ページを参照できます。
各機能をご利用になる前に 取扱説明書の「第２章　ご使用前の準備」を必ずお読みください。

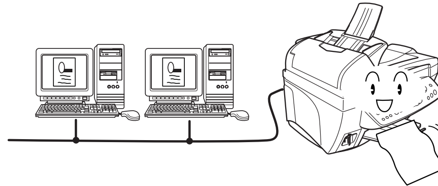
ネットワークプリンタとして共有して使いたい。

- **Windows®** P.2-1
- **Macintosh®** P.3-1
- 「パソコン活用編」の「第１章　プリンタとして使う」



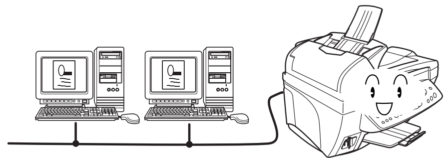
ネットワークスキャンしたい。

「パソコン活用編」の「第２章　スキャナとして使う」

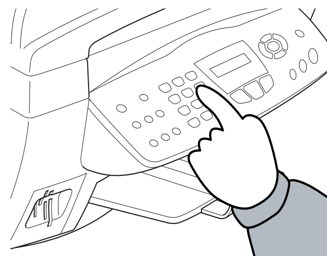


カードスロットにセットしたメモリーカードをネットワーク内のパソコンでリムーバブルディスクとして利用したい。

「パソコン活用編」の「メモリーカードをリムーバブルディスクとしてパソコンで使う」



操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。P.5-1



第 1 章

ネットワークで使う前に

ネットワークの基礎

概要

ネットワークに本機を接続すると、複数台のコンピュータから本機に印刷することが可能になります。

ネットワークに本機を接続して使用するには、プロトコルの選定とネットワークインターフェースの設定、使用する各コンピュータの設定が必要です。



- **プロトコルの選定とネットワークインターフェースの設定**
  すでにネットワークに接続されている場合は、使用している印刷用プロトコルを確認してください。なお、この場合はネットワークインターフェースの設定は不要です。

プロトコルについて

プロトコルとは、ネットワーク上で通信やデータの送受信などを行うための手順を定めたものです。所定のプロトコルを利用することで、ネットワークに接続されたプリンタを利用することができます。

TCP/IP

現在最も標準的に使われている通信プロトコルで、インターネットや電子メールなどで利用されています。Windows®、Macintosh®、Linux など、ほとんどのコンピュータで使用できます。
会社などでネットワークが組まれている場合、このプロトコルが多く使われており、大規模なネットワークに適しています。
印刷用プロトコルにも TCP/IP をベースにしたものが多く、本機では LPR などが使用できます。

プロトコルの設定に必要な項目

TCP/IP 設定

下記の内容は、通常ネットワーク管理者が管理します。
- IP アドレス、サブネットマスク
- ゲートウェイ（ルータがある場合）

IP アドレス

0~255 の数字を組み合わせた 4 つのブロックで構成されています。各コンピュータに重複しない IP アドレスを個別に割り当てます。

例） 192.168.1.1
小規模なネットワークでは、例えば 192.168.1.1、192.168.1.2、192.168.1.3・・・と、末尾の番号を変えて設定します。

サブネットマスク

TCP/IP のネットワーク接続で大規模なネットワークの場合、通常ルータを経由していくつかの小規模なネットワーク (サブネット) に区切られます。IP アドレスはネットワーク部とホスト部から構成され、その切れ目はサブネットマスクによって決定されます。ホスト部のビットが全て 0 のアドレスをネットワークアドレス、全て 1 のアドレスをブロードキャストアドレスと呼びます。
このアドレスの範囲内が、そのネットワークでコンピュータを識別できる IP アドレスとなります。

例） ネットワーク 1、2 という 2 つの異なるネットワーク上にあるそれぞれのプリンタから印刷する場合、
- •ネットワーク 1 上のネットワークプリンタの IP アドレスが「192.168.1.1」
- •ネットワーク 2 上のネットワークプリンタの IP アドレスが「192.168.2.1」

とします。サブネットマスクを「255.255.255.0」と設定すると、それぞれのネットワークアドレスは「192.168.1.0」「192.168.2.0」となり、異なるネットワークだと判断されます。このような場合はルータを経由してアドレス変換を行う必要があります。
次に、サブネットマスクを「255.255.0.0」と設定すると、ネットワークアドレスが両方とも「192.168.0.0」となり、同一のネットワーク内の通信と判断されますので、この場合はルータを使用する必要はありません。

ゲートウェイ（ルータ）

ネットワークとネットワークとを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを経由して送信されるデータを正確に目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内のデータの送り先が外部のネットワーク宛であれば、ルータはそのデータを外部に送り出します。



ノード名
従来の BRAdmin Professional や LAN 設定内容リストなどで表示されるネットワークプリンタの名称で、デフォルトでは「BRN_xxxxxx」となっています。(「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。)

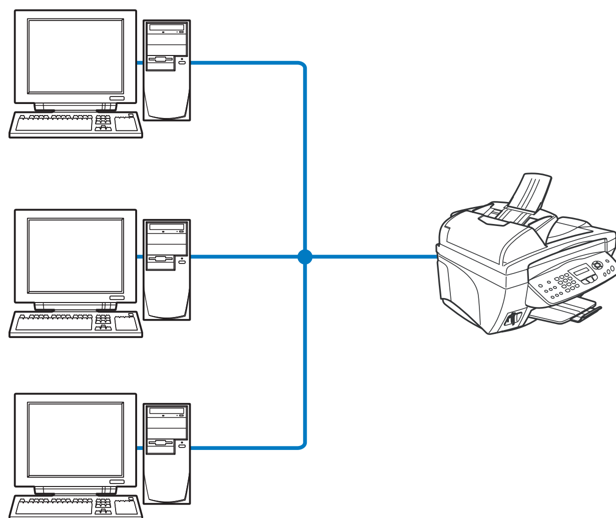
ネットワークの接続

接続方法

接続方法は、各コンピュータから直接本機と通信して印刷する方法（ピアツーピア）と、本機に接続されているコンピュータを経由して印刷する方法（ネットワーク共有）があります。

ピアツーピア接続

各コンピュータにプリンタポートの設定をします。

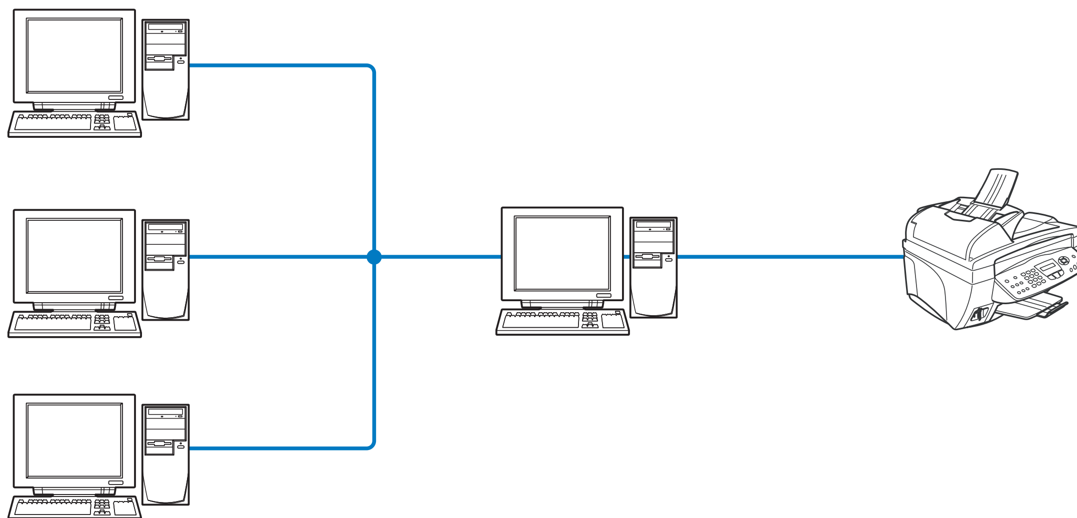




本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

ネットワーク共有

プリンタに直接接続されているコンピュータのみプリンタポートを設定し、そのコンピュータを経由して他のコンピュータも本機を共有できます。ただし、本機に接続されているコンピュータの電源が入っていないと、他のコンピュータは本機を使用できません。

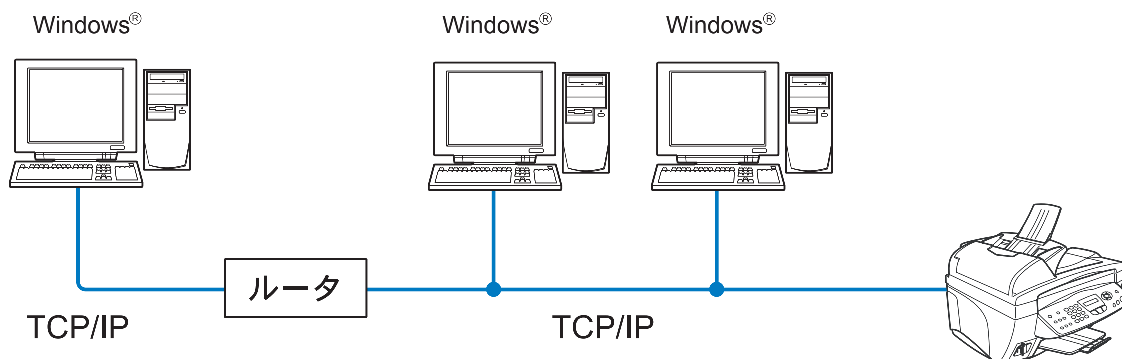




ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

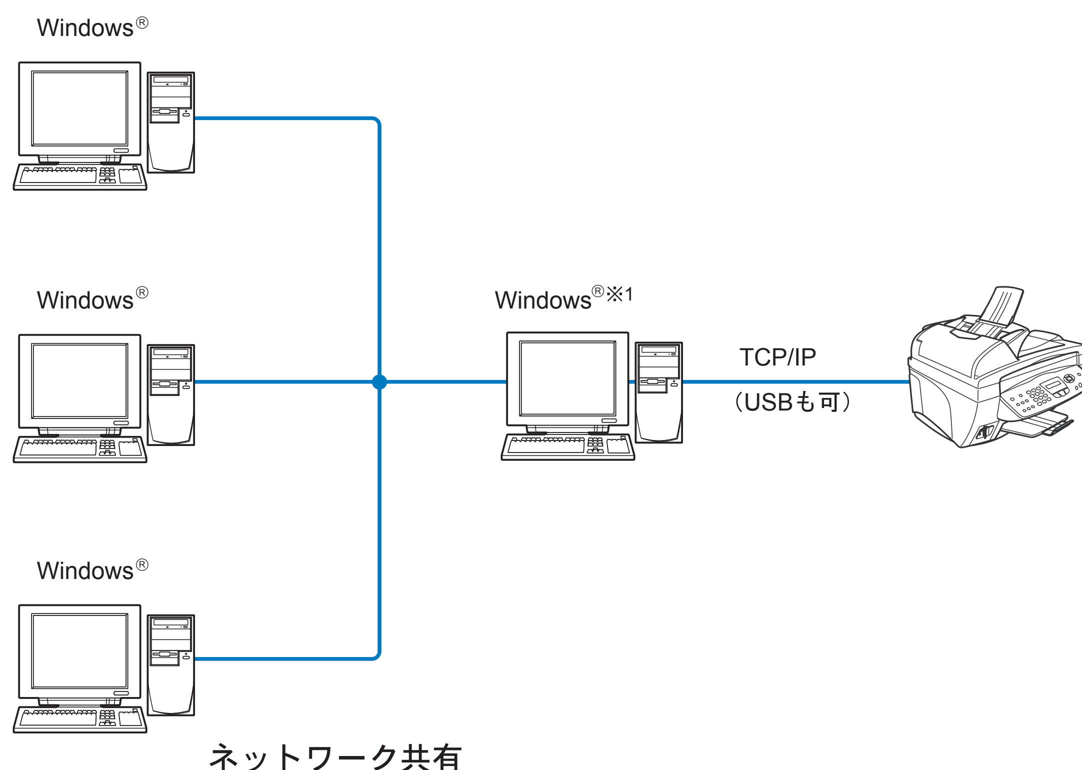
接続例

接続例 1：ピアツーピア（TCP/IP）



- 各コンピュータに TCP/IP と印刷プロトコルの設定を行います。
- 本機にも IP アドレスを設定する必要があります。
- すでに TCP/IP でネットワークを構築している場合は、この設定をお勧めします。
- ルータがある場合、ルータの先からも利用可能です。（ゲートウェイの設定が必要）
- ワークステーション、Macintosh®（TCP/IP 対応 OS）からも使用可能です。

接続例 2：ネットワーク共有



- 本機と直接接続するコンピュータ（※ 1）は、TCP/IP と印刷プロトコル設定が必要です。
- 本機と直接接続するコンピュータ（※ 1）の電源が入っていなければ、本機を使用できません。
- Windows® のみ設定可能です。



ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

第 2 章

Windows® 環境で TCP/IP ピアツーピア印刷する

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

概要

Windows® 2000/XP の場合は、TCP/IP プロトコルを使用して、本機から直接印刷することができます。
ネットワークサーバなどは経由せずに印刷します。

条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- コンピュータに LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ネットワークインターフェースの IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. ネットワークインターフェースの IP アドレスなどを設定します。P.2-3
4. コンピュータに本機の関連付けをします。P.2-5



Windows® 2000/XP の場合
標準で TCP/IP プロトコルがインストールされています。

ネットワークインターフェースの設定

TCP/IP を使用して印刷するには、ネットワークインターフェースに IP アドレスを設定する必要があります。
使用するコンピュータと同じネットワーク上にネットワークインターフェースが接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

ネットワークインターフェースは各種の IP アドレス自動設定機能に対応しており、DHCP/BOOTP/RARP などの IP アドレス配布サーバを利用した環境では、起動時にそれらのサーバから自動的にアドレスが割り当てられます。
これらの IP アドレス配布サーバのない環境では、APIPA（AutoIP）機能によってネットワークインターフェース自身でアドレスを割り当てます。
ただし、APIPA では、使用しているネットワークの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合や、APIPA 機能を無効にしている場合は、以下の説明にしたがって、IP アドレスを設定してください。APIPA（AutoIP）や IP アドレス設定に関する詳細は、P.6-2 を参照してください。



- IP アドレス自動設定機能が無効の場合は、工場出荷時の初期設定は、次の通りです。
  - ・IP アドレス：169.254.XXX.XXX
  - ・パスワード：access
- LAN 設定内容リストを印刷して、現在の設定値を調べることができます。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.5-15 を参照してください。

BRAdmin Professional を使用してネットワークインターフェースの設定をする

BRAdmin Professional を使用して、IP アドレスの変更ができます。

1 本機をネットワークに接続し、ネットワーク上に接続されたコンピュータから BRAdmin Professional を起動します。

2 メインウィンドウの左側のフレームで、［フィルタ］の［TCP/IP］を選択します。

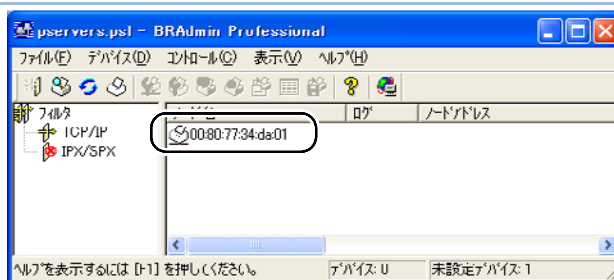




ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により正常に設定された場合には、メインウィンドウの右側のフレームにネットワークインターフェースが表示されます。

3 ［デバイス］メニューの［稼働中のデバイスの検索］をクリックします。

ネットワークインターフェースの設定が工場出荷時のままの場合は、未設定デバイスとして表示されます。
この場合ノード名としてイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。



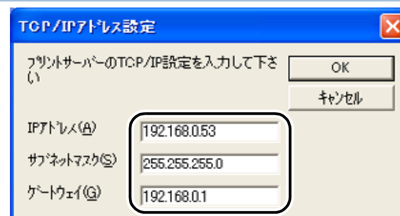
4 IP アドレスを設定したり、未設定デバイスをダブルクリックします。



LAN 設定内容リストを印刷して、ノード名やイーサネットアドレス (MAC アドレス) を調べることができます。詳しくは、「LAN 設定内容リストの出力」P.5-15 を参照してください。

5 ネットワークインターフェースの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ（必要な場合）を入力します。

例） IP アドレス：192.168.0.53
　　サブネットマスク：255.255.255.0
　　ゲートウェイ：192.168.0.1



6 ［OK］をクリックします。

7 IP アドレスを正しく設定すると、デバイスリストにノード名およびプリンタ名が表示されます。



IP アドレスを変更する他の方法

- 操作パネルから設定する場合は、「操作パネルで設定する」P.5-1 を参照してください。
- その他の IP アドレスの設定方法は、「ネットワークインターフェースの設定」P.6-1 を参照してください。

コンピュータの設定（Windows® 2000/XP）

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバがインストールされていないとき）

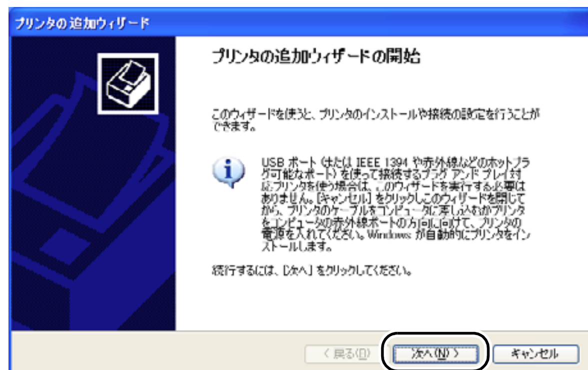
TCP/IP ポートを追加し、プリンタドライバをインストールして本機の関連付けをします。
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）」P.2-9を参照してください。
Windows® 2000/XP では、ネットワークに必要なソフトウェアは、すべて標準でインストールされています。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

- Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

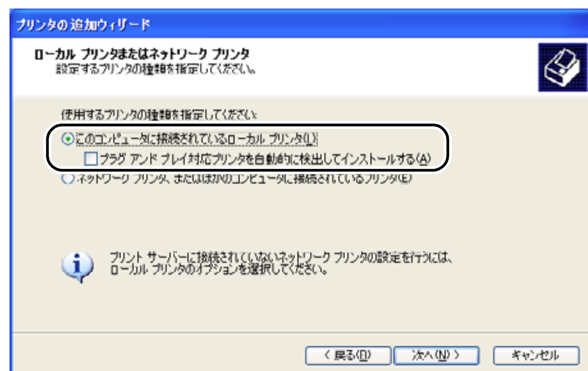
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。



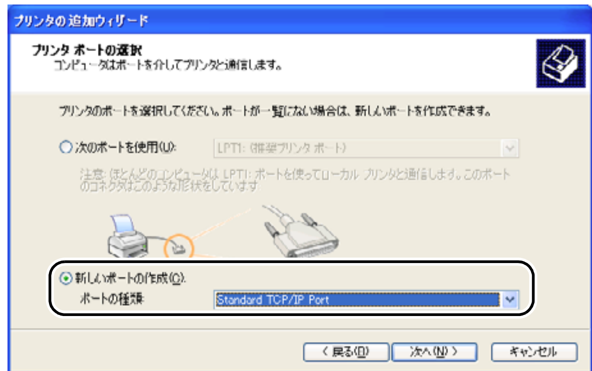
3 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

- Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。



4 ［次へ］をクリックします。

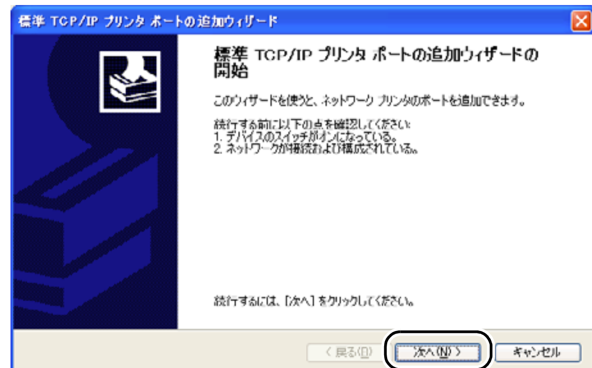
5 ［新しいポートの作成］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選択します。



6 ［次へ］をクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

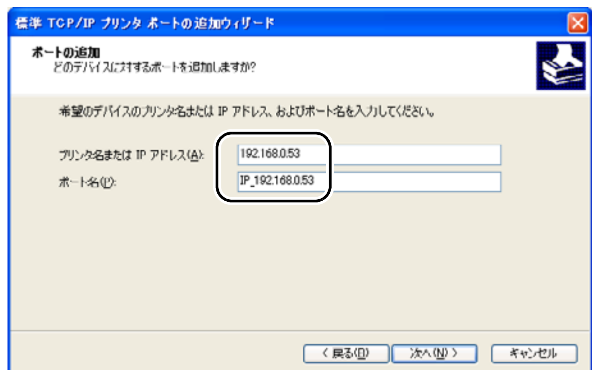


8 本機の［プリンタ名または IP アドレス］を入力します。

［ポート名］はウィザードによって自動的に入力されます。

例） 192.168.0.53 の場合

IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［IP_192.168.0.53］が入力されます。



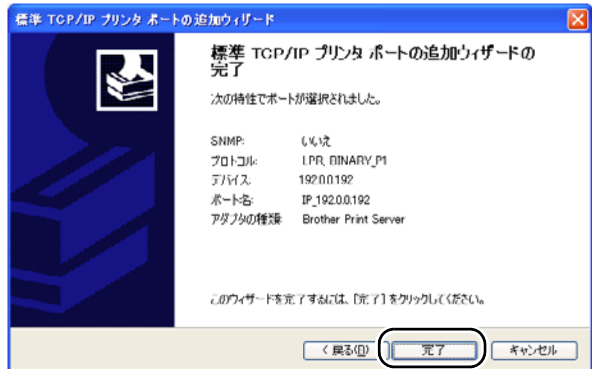
9 ［次へ］をクリックします。

Windows® 2000/XP から本機へ接続されます。

指定したアドレスまたはプリンタ名を誤って入力すると、エラーメッセージが表示されます。

10 ［完了］をクリックします。

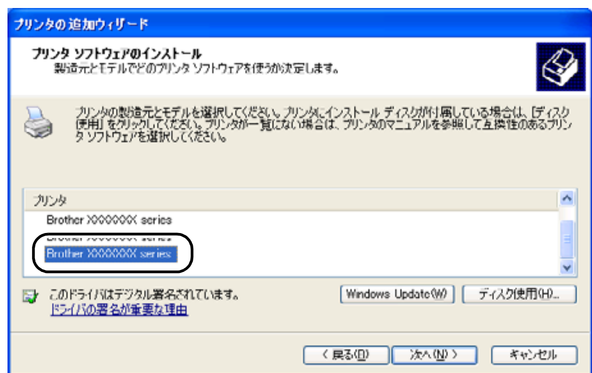
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］を終了し、［プリンタの追加ウィザード］に戻ります。



11 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバの保存場所を選択します。

・Windows® 2000 :¥JPN¥W2K¥Addprt
・Windows® XP :¥JPN¥WXP¥Addprt





コンピュータがインターネットに接続されている場合は、［Windows Update］をクリックし、Microsoft のウェブサイトから直接プリンタドライバをダウンロードすることもできます。

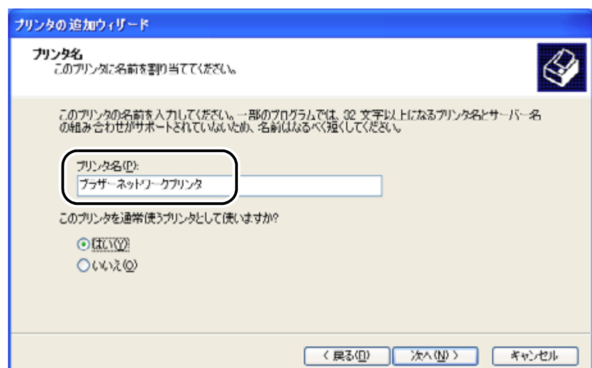
12 ［次へ］をクリックします。



すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

13 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。

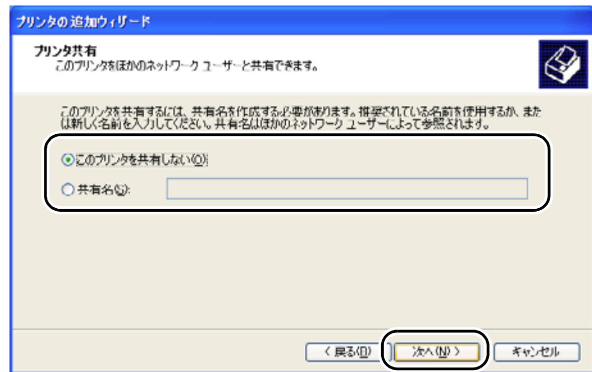
例）ブラザーネットワークプリンタ



第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

14 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択して、［次へ］をクリックします。

15 本機を共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

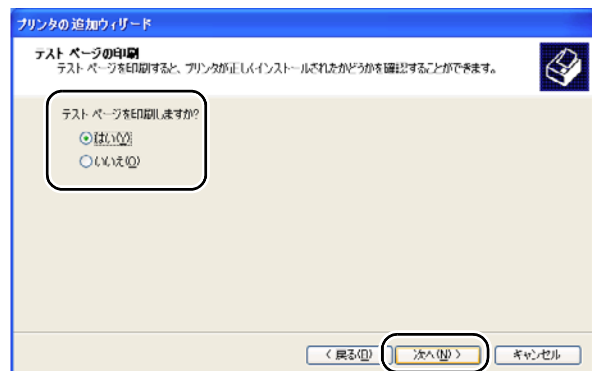




共有した場合は、必要に応じて［場所］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックします。

16 テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

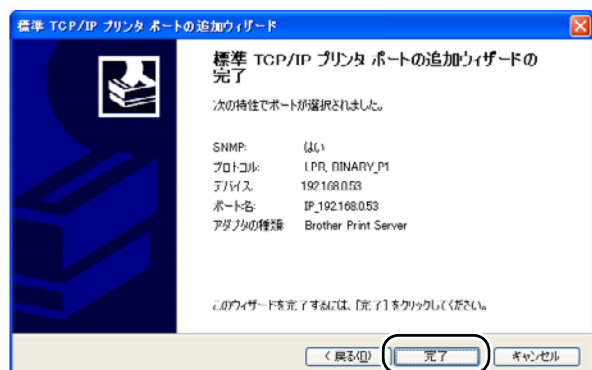
- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。



17 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



メモ

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順で TCP/IP ポートの追加と本機の関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
　［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。
⑤ 「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）」の手順 7 ～ 10P.2-6を実行します。

LPR（BLP）で印刷する

概要

Windows® 98/Me の場合は、TCP/IP プロトコル上のピアツーピア印刷（LPR）プロトコルを使用して、本機から TCP/IP ピアツーピアで直接印刷することができます。



BLP とはブラザー製 Brother LPR Port の略称です。

条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ネットワークインターフェースの IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. ネットワークインターフェースの IP アドレスなどを設定します。P.2-10
4. コンピュータにブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。P.2-12
5. コンピュータに本機の関連付けをします。P.2-15



Windows® 98/Me に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、P.2-11を参照してインストールしてください。

ネットワークインターフェースの設定

TCP/IP を使用して印刷するには、ネットワークインターフェースに TCP/IP の IP アドレスを設定する必要があります。
詳細は、「BRAdmin Professional を使用してネットワークインターフェースの設定をする」P.2-3を参照してください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

コンピュータの設定（Windows® 98/Me）

TCP/IP プロトコルの追加

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、**「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」**P.2-12へ進みます。

1 **[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[ネットワーク] をダブルクリックします。**
[ネットワーク] が表示されます。

2 **[ネットワークの設定] タブで、[追加] をクリックします。**

3 **[プロトコル] を選択し、[追加] をクリックします。**

4 **[製造元] で [Microsoft] を選択し、[ネットワークプロトコル] で [TCP/IP] をクリックします。**

5 **[OK] をクリックします。**
[現在のネットワークコンポーネント] に [TCP/IP] が追加されます。

> メモ
> 必要なファイルをコピーするためディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示にしたがってフロッピーディスクまたは CD-ROM を挿入してください。

6 **[現在のネットワークコンポーネント] の [TCP/IP] を選択し、[プロパティ] をクリックします。**

7 **IP アドレスなどの必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。**
入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

8 **[OK] をクリックします。**
再起動を促すメッセージが表示されます。

9 **[はい] をクリックします。**
コンピュータが再起動されます。

これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

- 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 お使いのモデルをクリックします。

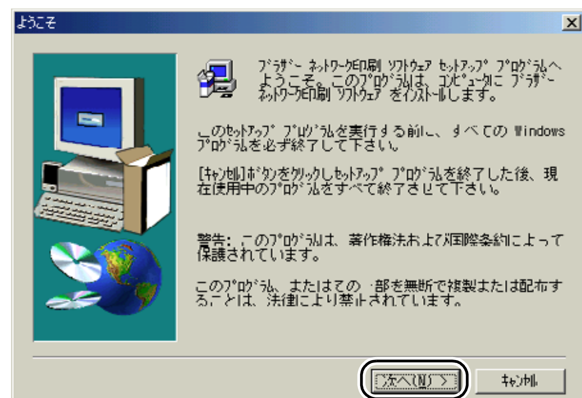
3 ［インストール］をクリックします。

4 ［ネットワーク管理者用ソフトウェア］をクリックします。

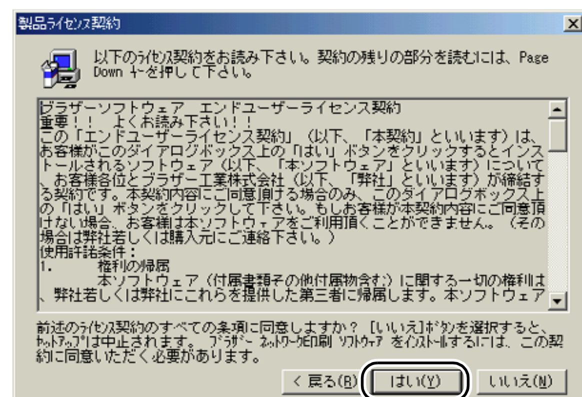
5 ［ネットワークプリントソフトウェア］をクリックします。

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

6 ［次へ］をクリックします。

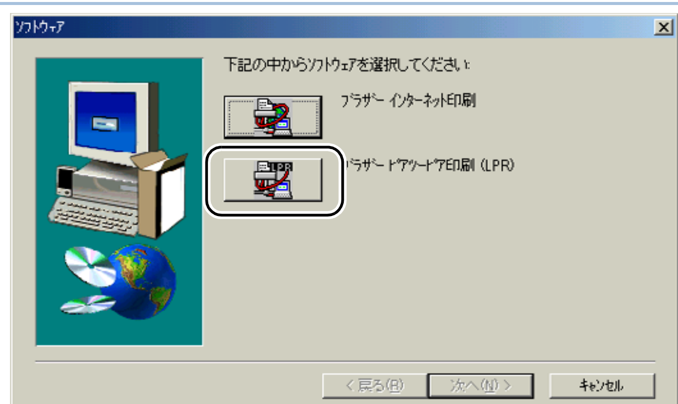


7 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。



第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
PC-FAX
第5章
パネル
第6章
ネットワーク
第7章
トラブル対応
第8章
付録
索引

8 ［ブラザーピアツーピア印刷（LPR)］をクリックします。



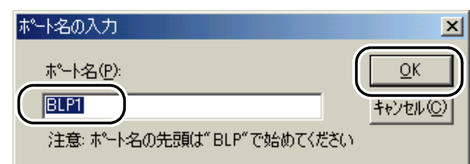
9 ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

- デフォルトのフォルダから変更する場合は、インストールするフォルダを入力します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。



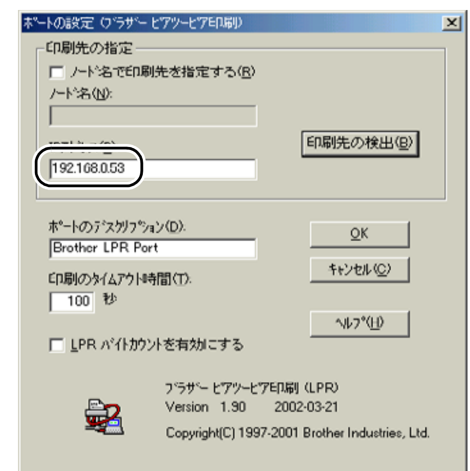
10 使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

デフォルトのポート名は「BLP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。



11 ［IP アドレス］に、本機の IP アドレスを入力します。

例）192.168.0.53



第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

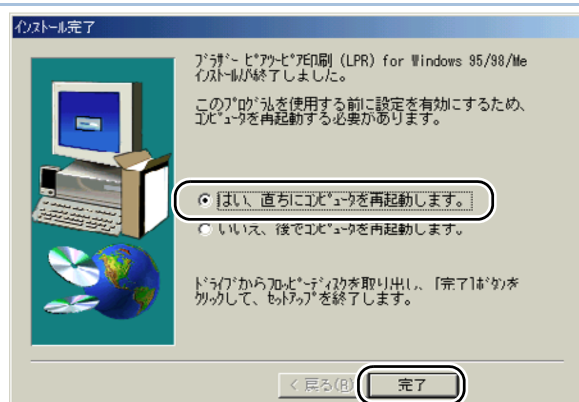


- hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、ネットワークインターフェースに割り当てた名前を入力します。Windows® 98/Me の hosts ファイルは、Windows ディレクトリに保存されています。
- Windows® の hosts ファイルのデフォルト名は「hosts.sam」です。このファイルを使用する場合は、ファイル名から拡張子を削除してください。この拡張子 “.sam” はサンプルであることを示すものです。

12 ［OK］をクリックします。

13 ［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。

コンピュータが再起動されます。



これで、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールは完了しました。

「プリンタの関連付け」P.2-15 へ進みます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

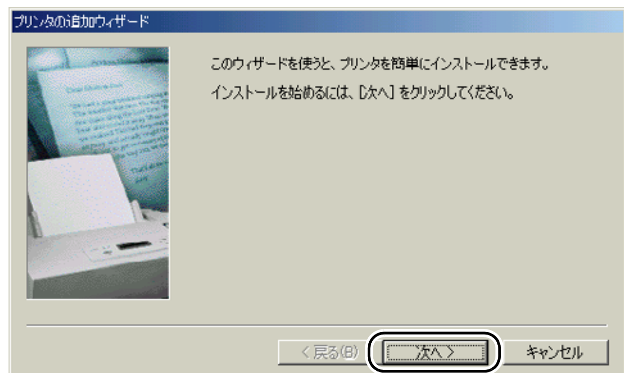
プリンタの関連付け

作成したブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートに、本機の関連付けをします。

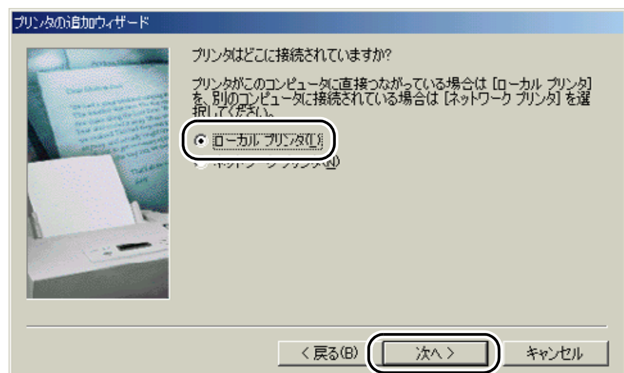
1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。



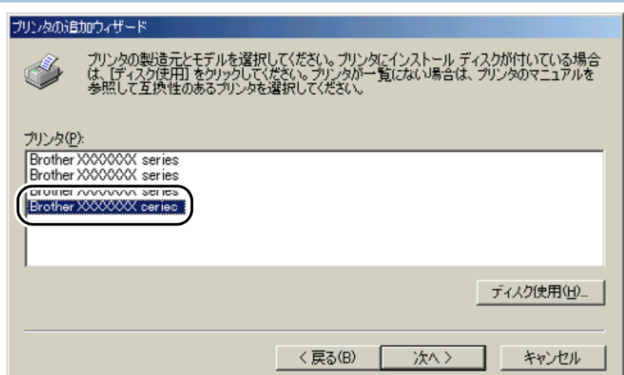
3 ［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。



4 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM ¥JPN¥W9X¥Addprt を参照します。

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。



5 ［次へ］をクリックします。

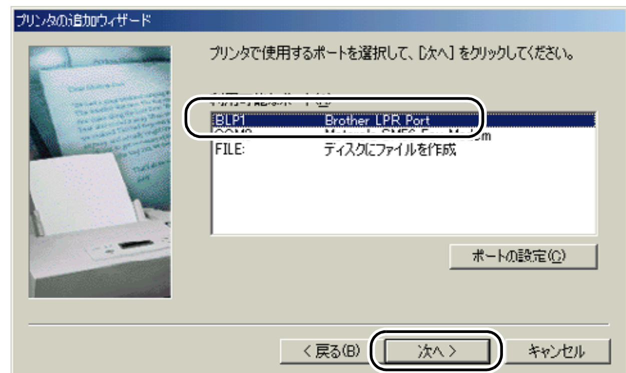


すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

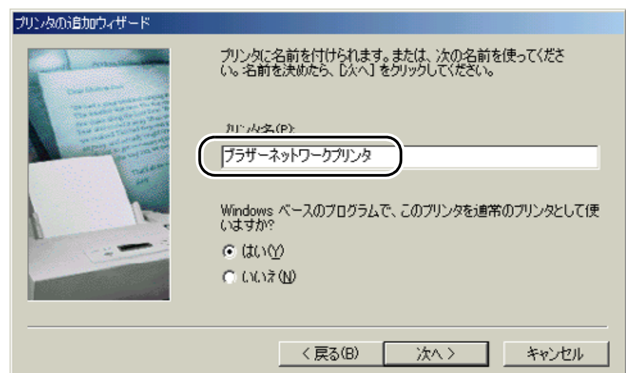
6 「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順9で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。

例） BLP1



7 必要に応じて［プリンタ名］を変更します。

例）ブラザーネットワークプリンタ



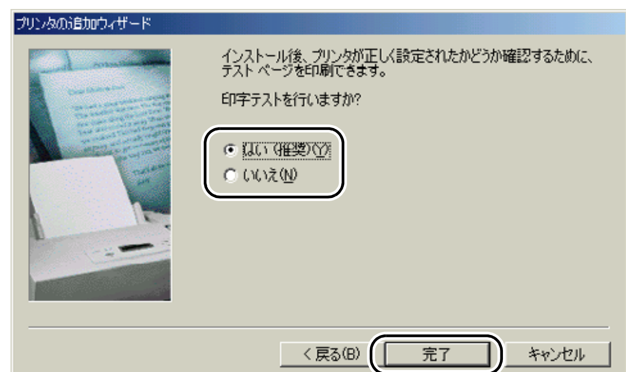
8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

メモ

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートの追加

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［Brother LPR Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 11 P.2-13 を実行します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

第 3 章

Macintosh® 環境でネットワーク印刷する

概要

ネットワークインターフェースは、Mac OS® X 10.2.4 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応していますので、TCP/IP においても AppleTalk 同様にプラグアンドプレイで接続することができます。
なお、本機のネットワークインターフェースは、Mac OS® X 10.2.4 以降でご利用ください。

●設定の流れ

簡易ネットワーク設定の場合（Mac OS® X 10.2.4 以降）

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワークに接続されており、プリントサーバも同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. プリントサーバを設定します。
   TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバに適切な IP アドレスを設定する必要があります。
   設定方法の詳細は、「BRAdmin Professional を使用してネットワークインターフェースの設定をする」P.2-3
   および「ネットワークインターフェースの設定」P.6-1を参照してください。
   なお、Mac OS® X では、コンピュータも APIPA（AutoIP）をサポートしているため、APIPA（AutoIP）を使用している環境であれば、同様に APIPA（AutoIP）で自動設定されたプリントサーバとそのまま通信できます。APIPA（AutoIP）を無効にしている場合は、IP アドレスの設定が必要です。
3. 簡易ネットワーク設定機能を設定します。P.3-3

Quick Draw の場合（Mac OS® 8.6 ～ 9.2）

かんたん設置ガイド「ネットワークケーブルで接続する」の「Mac OS® 8.6 ～ 9.2 ユーザの方」を参照してください。

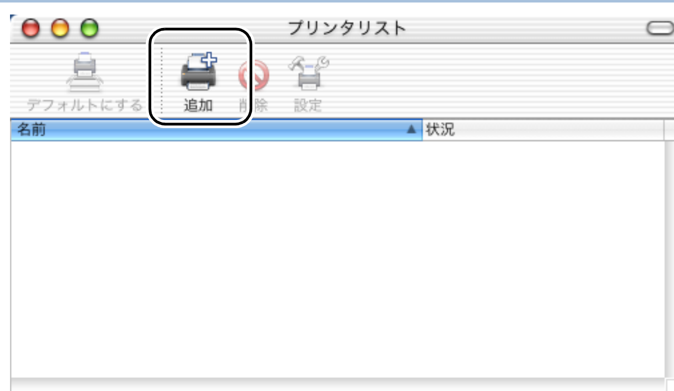
簡易ネットワーク設定機能で印刷する

簡易ネットワーク設定機能を使用すると、自動的に機器をコンピュータに接続して、瞬時にネットワークを作成します。
Mac OS® X の簡易ネットワーク設定は、自動的に本機に設定されます。
Mac OS® X 10.2.4 かそれ以降のバージョンを使用してください。

1 本機の電源を入れます。

2 ［Macintosh HD］アイコン－［Applications］フォルダー－［Utilities］フォルダー－［PrintCenter］アイコンの順にダブルクリックします。

3 ［追加］をクリックします。



4 Rendezvous を選択します。
簡易ネットワーク設定機能に対応した機器が表示されます。



5 ［Brother MFC-3820JN（BRN_xxxxxx_P1)］を選択し、［追加］をクリックします。
xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。



6 本機を選択し、［デフォルトにする］をクリックすると、通常使用するプリンタとして設定されます。
これで、プリンタから印刷できます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

第 4 章

ネットワーク PC-FAX 機能を使う

ネットワーク PC-FAX 機能とは

ネットワーク PC-FAX 機能を使うと、どのようなアプリケーションからでもプリンタに印刷する感覚で、本機から通常のファクス機器に文書を送信できます。
また送付書をつけることも可能で、コンピュータ上で送付先の電話帳を管理できるので非常に便利です。
ファクス文書が経由するのは通常の電話線です。
ネットワーク PC-FAX の最新情報については、ブラザーソリューションセンター（**http://solutions.brother.co.jp/**）を参照してください。

ネットワーク PC-FAX 機能を使う

ネットワーク PC-FAX 機能では、アプリケーションから印刷を実行し、ドライバとして Brother PC -FAX を選択すると PC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、本機の取扱説明書「パソコン活用編」を参照してください。

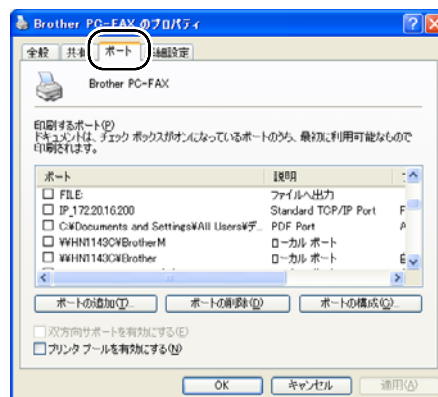
ネットワーク PC-FAX 機能を使う準備

PC-FAX の関連付け

1 **スタートメニューから「設定」をクリックし、「プリンタ」をクリックします。**
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。**

3 **「ポート」タブをクリックし、使用するポートを選択します。**
複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用する MFC をここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



4 **「OK」をクリックします。**
これでインストールは完了です。

●ネットワーク PC-FAX を使用して通常のファクス機器に電話線を通じてファクスを送信する

送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、またはあらかじめファクス番号を設定した電話帳からメンバーを選択してください。

Windows® 環境でネットワーク PC-FAX 機能を使う

ファクスを送る



- 送信可能なファクス文書は白黒のみです。カラーの文書も白黒に変換されます。
- Windows® 2000/XP をお使いの場合は、管理者権限でログインしておきます。

●個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

1 ［スタート］メニューから、［プログラム］-［Brother］-［MFC_DCP MFC-XXXXX］(XXXXX はお使いのモデル名)-［PC-FAX 設定］の順に選択します。

「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 個人情報を入力します。

Brother PC-FAX 設定
個人情報 | 送信 | ワンタッチダイヤル (ファクススタイル選択時のみ)
名前(N)：
会社名(C)：
部署(D)：
電話番号(P)：
FAX 番号(F)：
E-mail(E)：
住所1(1)：
住所2(2)：
OK キャンセル

3 ［OK］をクリックして、個人情報を保存します。

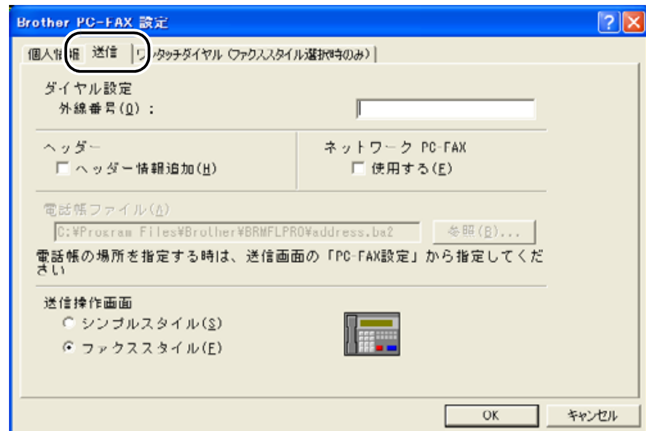
Brother PC-FAX 設定
個人情報 | 送信 | ワンタッチダイヤル (ファクススタイル選択時のみ)
名前(N)：ブラザー太郎
会社名(C)：ブラザー
部署(D)：営業部
電話番号(P)：999-999-9999
FAX 番号(F)：888-888-8888
E-mail(E)：xxxxx@brother.co.jp
住所1(1)：名古屋市中区
住所2(2)：
OK キャンセル

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

●ネットワーク PC-FAX 使用の設定

1 ［スタート］メニューから、［プログラム］-［Brother］-［MFC_DCP MFC-XXXXX］(XXXXX はお使いのモデル名)-［PC-FAX 設定］の順に選択します。
「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 「送信」タブをクリックします。
ダイヤル設定欄の「外線番号」は、単独の電話回線へ接続する場合は、何も入力しません。PBX 等の内線接続の場合で、外線発信するための番号が指定された環境で使用するときに入力します。
例）「0」発信の場合は「0」を入力します。



> **メモ**
> ブラザーの複合機を複数台ご使用で、インターネットファクス機能に対応する機種に送信する場合のみ、ネットワーク PC-FAX の「使用する」をチェックします。
> （MFC-3420J/3820JN は未対応です。）

3 「OK」をクリックします。

●電話帳に登録する

ネットワーク PC-FAX 機能を使ってファクスを送信するには、相手をブラザー PC-FAX 電話帳にメンバーとして登録する必要があります。

1 ブラザー PC-FAX 電話帳画面で、をクリックします。
メンバー登録画面が表示されます。

2 登録するメンバーの情報を入力します。
「名前」欄と「ファクス番号」欄は必ず入力してください。

> **メモ**
> 入力した相手先は FAX 番号の順に検索され、送信されます。

Brother Address Book メンバー設定
名前(N): ブラザー一郎　敬称(T):
会社名(I):
部署(D):　役職(J):
国/地域(R):　郵便番号(Z):
都道府県(V):　市町村(C):
番地(S):
勤務先電話番号(B):　自宅電話番号(H):
ファクス(F): 999-999-9999　携帯電話(P):
E-Mail(E): aaaaaaaaa@brother.co.jp
MFC E-Mail アドレス(M):
決定　キャンセル

3 「OK」をクリックします。
メンバーが登録されます。

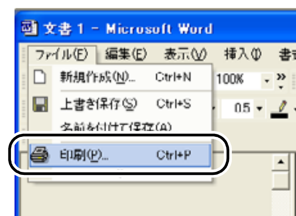
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

ファクスを送る

1 アプリケーションでファクス送信したい文書を開きます。

2 アプリケーションの「ファイル」メニューから「印刷」をクリックします。

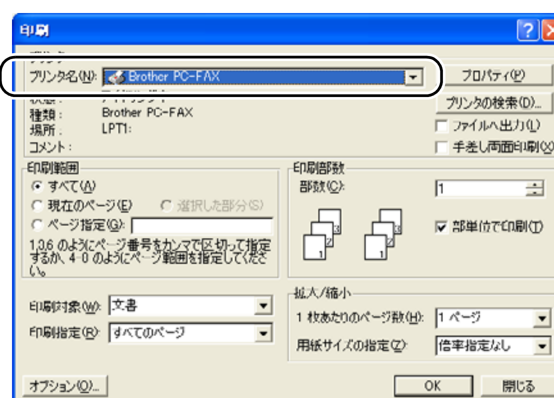
「印刷」ダイアログボックスが表示されます。



3 「プリンタ名」に「Brother PC-FAX」を選択し、「OK」をクリックします。

「ファクス送信」ダイアログボックスが表示されます。

- 「ファクス送信」ダイアログボックスは、「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスで選択したスタイル（ファクススタイルもしくはシンプルスタイル）になります。



4 送信先を入力します。

● ファクススタイルでファクス送信するとき

- ダイヤルパッドから入力する
- 10 個あるワンタッチダイヤルから選択して入力する
- 電話帳から選択して入力する

ファクススタイル

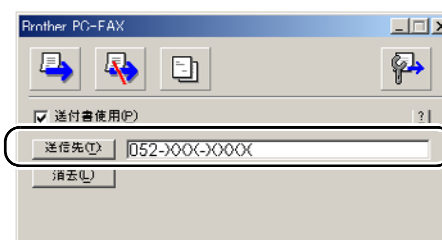


● シンプルスタイルでファクス送信するとき

- 「送信先」欄に送信先を入力する
- 「送信先」ボタンを押して電話帳から選択して入力する
  電話帳にグループ登録をしているときは、グループを選択して複数の送信先を指定することもできます。

● 間違えたときは、「消去」ボタンを押します。

シンプルスタイル



5 カバーページをつけるときは、以下の操作をします。

● ファクススタイルで送信するとき

をクリックして点灯させ、 をクリックしてカバーページを選択します。

● シンプルスタイルで送信するとき

「送付書使用」にチェックマークをつけ、 をクリックしてカバーページを選択します。

6 「スタート」（シンプルスタイルのときは ）をクリックします。

ファクスが送信されます。

ファクス送信を取りやめるときは、「中止」（シンプルスタイルのときは ）をクリックします。

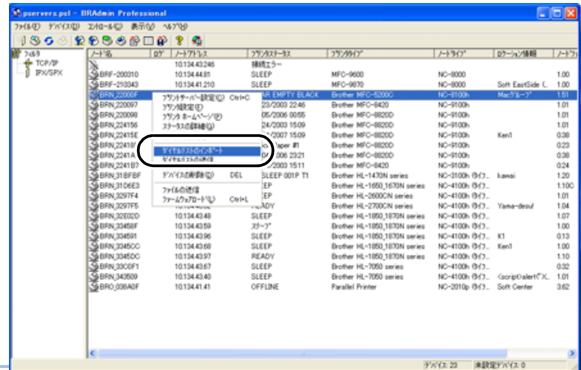
ネットワーク PC-FAX の電話帳を更新する

ここではブラザーネットワーク PC-FAX 電話帳を BRAdmin Professional を使って更新する手順について説明します。BRAdmin Professional を使うと、本機の電話帳からブラザー PC-FAX 電話帳にデータを取り込んだり本機の電話帳を更新することができます。

1 BRAdmin Professional を起動します。

2 本機をマウスで右クリックし、メニューから「ダイヤルリストのインポート」をクリックします。

本機の電話帳がブラザー PC-FAX 電話帳に登録されます。

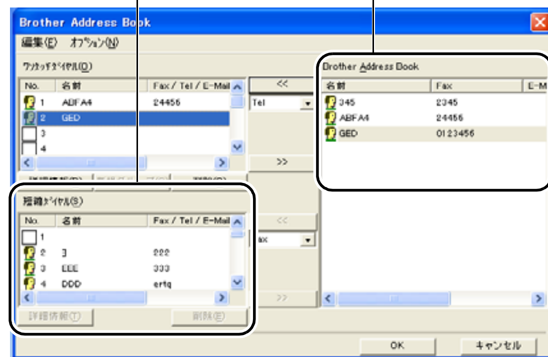


3 「ブラザー PC-FAX 電話帳」画面が表示されます。

4 短縮ダイヤルに登録するメンバーを登録します。

[<<] [>>] ボタンを押して、左のボックスに移動させてください。

本機の短縮ダイヤル　　アドレスブック





電話帳にはワンタッチダイヤルが表示されますが、MFC-3820JN にはワンタッチダイヤルはありませんので、短縮ダイヤルのみに登録できます。

5 ブラザー PC-FAX 電話帳画面の「OK」をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

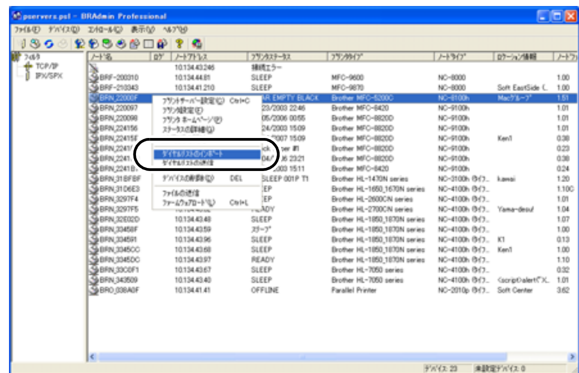
電話帳を更新する

BRAdmin Professional を使うと、本機の電話帳を更新することができます。

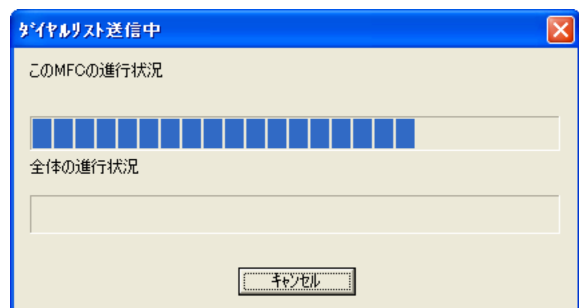
1 BRAdmin Professional を起動します。

2 本機をマウスで右クリックし、メニューから「ダイヤルリストの送信」をクリックします。

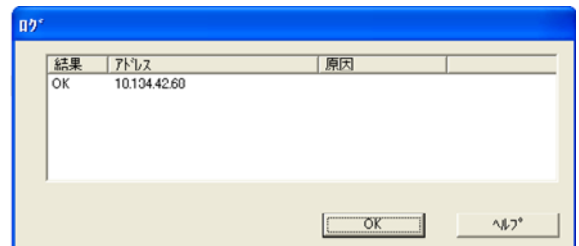
ブラザー PC-FAX 電話帳が本機に内蔵されている電話帳に送られ、更新されます。
複数台のブラザーネットワークプリンタの電話帳を同時に更新することもできます。



更新中は右の画面が表示されます。
更新を途中で止めるときは、「キャンセル」をクリックしてください。



更新が終わると、右の画面が表示されます。
確認して、「OK」をクリックしてください。



第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

Macintosh® 環境でネットワーク PC-FAX 機能を使う

ファクスを送信する（Mac OS® 8.6 ~ 9.2）

ネットワーク PC-FAX 機能からファクスを送るには、以下のようにします。

1 アップルメニューから［セレクタ］をクリックします。

2 Brother Ink（IP）アイコンをクリックします。

3 右側のボックスから PC-FAX に使用するブラザーファクスを選択します。

4 セレクタ画面を閉じます。

5 ネットワーク PC-FAX 機能で送信したい文書を開きます。

6 アプリケーションのメニューから［印刷］を選択します。
「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

7 ［出力］ポップアップメニューから［ファクシミリ］を選択します。
「印刷」ダイアログボックスが「ファクシミリ」ダイアログボックスになります。

8 ［ファクスを送る］ボタンをクリックします。
「ファクスを送る」ダイアログボックスが表示されます。

9 左のボックスから送信したいファクス番号をダブルクリックします。
送信先のファクス番号が右側のボックスに表示されます。
複数の送信先がある場合は、それぞれの送信先をダブルクリックして選択します。

メモ
- 送信先ファクス番号を選択してから［>>］ボタンをクリックしても、右側のボックスに表示されます。
- 複数の送信先を一度に選択するときは、［Shift］キーもしくは［Ctrl］キーを押しながら送信先ファクス番号を選択してください。
- 新たな送信先を作成するときは［新規］ボタンをクリックしてください。新規登録画面が表示されます。送信先をグループとして登録しておくこともできます。詳しくは取扱説明書を参照してください。

10 全ての送信先を選択し終わったら、［ファクスを送る］ボタンをクリックします。

11 ［OK］ボタンをクリックして、「ファクシミリ」ダイアログボックスに戻ります。
選択した送信先に、文書が送信されます。

ネットワーク PC-FAX の住所録を更新する

ファクス送信の操作中でも、住所録を更新することができます。

●新規に相手を登録する

1 「ファクシミリ」ダイアログボックスで、[住所録] ボタンをクリックします。
「住所録」ダイアログボックスが表示されます。

2 [新規] ボタンをクリックします。

3 送信相手の名前とファクス番号を入力します。
コメント欄に、15 文字までのコメントをつけることができます。

4 [OK] をクリックします。
「住所録」ダイアログボックスに戻ります。

5 [OK] をクリックします。
「ファクシミリ」ダイアログボックスに戻ります。

●新規にグループを登録する

1 「ファクシミリ」ダイアログボックスで、[住所録] ボタンをクリックします。
「住所録」ダイアログボックスが表示されます。

2 [グループ] ボタンをクリックします。
「グループ設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 グループ名称を入力します。
コメント欄に、15 文字までのコメントをつけることができます。

4 グループに登録する相手を選択し、[OK] をクリックします。
「住所録」ダイアログボックスに戻ります。
複数の相手を一度に選択する場合は、[Shift] キーもしくは [Ctrl] キーを押しながら送信先ファクス番号を選択してください。

5 [OK] をクリックします。
「ファクシミリ」ダイアログボックスに戻ります。

第 5 章

操作パネルで設定する

操作パネルについて

操作パネルは、さまざまなボタン（スタートボタンなど）と液晶ディスプレイから構成されています。この章では、操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイを使用して、本機をネットワークで使用する際の設定方法について説明します。

操作ボタン

本機の操作パネルにいくつかのボタンがあります。これらのボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくても本機のネットワークの各設定項目を修正できます。

液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイは、各設定項目を表示したり、ダイヤルボタンなどで入力した文字を表示します。

操作パネルを使用すれば、「LAN」設定メニューを通じてネットワークの設定をすることができます。
［メニュー / セット］ボタンを押し、［↑］［↓］ボタンまたはダイヤルボタンで「5.LAN」を選択してください。

```
5. LAN
```

このように LAN のメインメニューへ入ることができます。

```
1. TCP／IP ｾｯﾃｲ
```

下記の 6 つの項目からそれぞれの設定画面に移ることができます。

- **1. TCP/IP 設定** P.5-3
- **2. その他の設定** P.5-13



一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本機に割り当てた後は、Windows® コンピュータをお使いの場合は、本機に同梱の CD-ROM に収録されている BRAdmin Professional を使用することで操作パネルからの設定と同様なことが簡単にできます。

1.TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本機に IP アドレスを設定します。
コンピュータと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本機が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。



本機の工場出荷時の初期設定は、次の通りです。
- IP アドレス：169.254.XXX.XXX
- パスワード：access



- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用していない場合は、デフォルトの IP アドレスは 192.0.0.192 になります。
- DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。BRAdmin Professional を使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。

このメニューは 9 つの項目で構成されています。

- **IP** アドレスの取得方法
- **IP** アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ホスト名
- **WINS** 設定
- **WINS** サーバ
- **DNS** サーバ
- **APIPA**



TCP/IP を設定する他の方法
- BRAdmin Professional を使用する場合は、「ネットワークインターフェースの設定」P.2-3 を参照してください。
- その他 TCP/IP を設定する方法は「第 6 章　ネットワークインターフェースの設定」P.6-1 を参照してください。

IP アドレスの取得方法

1 ［メニュー / セット］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］LAN を押します。
［↑］または［↓］ボタンでも選択可能です。

5. LAN

3 ［1］TCP/IP セッテイ、［1］IP シュトクホウホウの順に押します。

1. IP ｼｭﾄｸ ﾎｳﾎｳ

4 ［↑］または［↓］ボタンで Auto, Static, RARP, BOOTP または DHCP のいずれかを選択します。
お買い上げ時は「Auto」になっています。

IP ｼｭﾄｸ:Static

5 ［メニュー / セット］ボタンを押します。
IP アドレス取得方法が確立されます。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

IP アドレス

本機の現在の IP アドレスが表示されます。お買い上げ時は APIPA により自動的に割り当てられます。IP アドレスを変更する場合は、IP アドレスの取得方法を Static に指定してください。
Static 以外の IP アドレスの取得方法が選ばれている場合は、DHCP または BOOTP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
IP アドレスの取得方法が Auto に設定されている場合、Windows® 2000 の BOOTP サーバから IP の取得ができないので、DHCP を使うようにしてください。

1. ［メニュー / セット］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2. ［5］LAN を押します。
［↑］または［↓］ボタンでも選択可能です。

5. LAN

3. ［1］TCP/IP セッテイ、［2］IP アドレスの順に押します。

2. IP アドレス

4. ［1］ボタンを押します。
［2］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ
↕
169. 254. 010. 230

5. IP アドレスを入力します。

192. 168. 000. 053

6. ［メニュー / セット］ボタンを押します。
IP アドレスが登録されます。

ウケツケマシタ

7. ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

サブネットマスク

本機が使用する現在のサブネットマスクを表示します。DHCP または BOOTP、APIPA を使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 [メニュー / セット] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
[↑] または [↓] ボタンでも選択可能です。

5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ、[3] サブネットマスクの順に選択します。

3. サブ ネット マスク

4 [1] ボタンを押します。
[2] ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

255. 255. 000. 000

5 サブネットマスクアドレスを入力します。

255. 255. 255. 000

6 [メニュー / セット] ボタンを押します。
サブネットマスクが登録されます。

ウケツケマシタ

7 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

ゲートウェイ

本機の現在のゲートウェイアドレス（ルータ）のアドレスを表示します。DHCP や BOOTP、APIPA を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合は 000.000.000.000 にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1. [メニュー / セット] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2. [5] LAN を押します。
[↑] または [↓] ボタンでも選択可能です。
5. LAN

3. [1] TCP/IP セッテイ、[4] ゲートウェイの順に押します。
4. ゲートウエイ

4. ゲートウェイアドレスを入力します。
192. 168. 001. 254

5. [メニュー / セット] ボタンを押します。
ゲートウェイアドレスが登録されます。
ウケツケマシタ

6. [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

ホスト名

ホスト名をネットワークに登録するために使用します（WINS サーバに登録されている NetBIOS 名になります）。
Brother の推奨は BRN_XXXXXX（XXXXXX はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁）です（15 文字まで）。

1 ［メニュー / セット］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］LAN を押します。
［↑］または［↓］ボタンでも選択可能です。

5. LAN

3 ［1］TCP/IP セッテイ［5］ホストメイの順に押します。

5. ホスト メイ

4 ［1］ボタンを押します。
［2］ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

ヘンコウ　1. スル　2. シナイ

BRN_XXXXXX

5 ホスト名を入力します。
XXXXXX はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾 6 文字です。最大 15 文字まで入力できます。

BRN_XXXXXX

6 ［メニュー / セット］ボタンを押します。
ホスト名が登録されます。

ウケツケマシタ

7 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

WINS 設定

この項目で本機が WINS サーバアドレスをどのように取得するかを設定します。

Auto

DHCP サーバから自動的にプライマリー、セカンダリーの WINS サーバアドレスを取得します。
IP アドレスの取得方法が Auto に設定されている必要があります。

Static

手動で WINS サーバアドレスを設定します。

1 [メニュー / セット] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
[↑] または [↓] ボタンでも選択可能です。

5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ [6] WINS セッテイを選択します。

6. WINS セッテイ

4 [↑] または [↓] ボタンで Auto、Static のどちらかを選択します。
お買い上げ時は Auto になっています。

WINS セッテイ:Auto

5 [メニュー / セット] ボタンを押します。
WINS 設定が登録されます。

ウケツケマシタ

6 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

WINS サーバ

WINS サーバの設定をします。

プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にホスト名を登録します。

セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ WINS（Windows® Internet Naming Service）サーバの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバはプライマリ WINS サーバのバックアップで、プライマリサーバが見つからないときに使用します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS にホスト名を登録します。

ネットワーク内にセカンダリの WINS サーバが存在しない場合はブランクで構いません。

1. ［メニュー / セット］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2. ［5］LAN を押します。
［↑］または［↓］ボタンでも選択可能です。
`5. LAN`

3. ［1］TCP/IP セッテイ、［7］WINS サーバの順に選択します。
`7. WINS ｻｰﾊﾞ`

4. ［↑］または［↓］ボタンでプライマリ、セカンダリの WINS サーバを選択します。
`ﾌﾟﾗｲﾏﾘ`

5. ［メニュー / セット］ボタンで決定します。

6. WINS サーバのアドレスを入力します。
`000. 000. 000. 000`

7. ［メニュー / セット］ボタンを押します。
WINS サーバのアドレスが登録されます。
`ｳｹﾂｹﾏｼﾀ`

8. ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

DNS サーバ

DNS（ドメインネームシステム）サーバの設定をします。

●プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリ DNS（ドメインネームシステム）サーバのアドレスを指定します。

●セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバはプライマリ DNS サーバのバックアップで、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい場合には設定してください。

1. ［メニュー / セット］ボタンを押します。
   選択メニューが表示されます。
2. ［5］LAN を押します。
   ［↑］または［↓］ボタンでも選択可能です。
   `5. LAN`
3. ［1］TCP/IP セッテイ ［8］DNS サーバの順に選択します。
   `8. DNS サーバ`
4. ［↑］または［↓］ボタンでプライマリまたはセカンダリの DNS サーバを選択します。
   `プライマリ`
5. ［メニュー / セット］ボタンで決定します。
6. DNS サーバのアドレスを入力します。
   `000. 000. 000. 000`
7. ［メニュー / セット］ボタンを押します。
   DNS サーバのアドレスが登録されます。
   `ウケツケマシタ`
8. ［停止 / 終了］ボタンを押します。
   設定メニューを終了します。

APIPA

接続したネットワークの環境に合わせた TCP/IP 設定を自動的に行います。

1 [メニュー / セット] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
[↑] または [↓] ボタンでも選択可能です。

5. LAN

3 [1] TCP/IP セッテイ [9] APIPA の順に選択します。

9. APIPA

4 [↑] または [↓] ボタンで On または Off を選択します。
お買い上げ時は On に設定されています。

APIPA:On

5 [メニュー / セット] ボタンを押します。
APIPA の設定が登録されます。

ウケツケマシタ

6 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

2. その他の設定

このメニューは 2 つの項目で構成されています。

- イーサネット
- タイムゾーン

イーサネット

この設定に対する変更を有効にするためには、本機を一度再起動する必要があります。

1 ［メニュー / セット］ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 ［5］LAN を押します。
［↑］または［↓］ボタンでも選択可能です。

5. LAN

3 ［2］ソノタセッテイ、［1］イーサネットの順に選択します。

1. イーサネット

4 ［↑］または［↓］ボタンでリンクモードを選択します。
以下から選択してください。

- Auto
- 100B-FD
- 100B-HD
- 10B-FD
- 10B-HD

100B－HD

5 ［メニュー / セット］ボタンを押します。
イーサネットの設定が登録されます。

ウケツケマシタ

6 ［停止 / 終了］ボタンを押します。
設定メニューを終了します。

Ethernet リンクモードについて

Auto： 100BaseTX（全二重 / 半二重）、10BaseT（全二重 / 半二重）モードを自動接続により選択します。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：
それぞれのリンクモードに固定されます。

- 100B-FD ：100BaseTX Full Duplex
- 100B-HD ：100BaseTX Half Duplex
- 10B-FD ：10BaseT Full Duplex
- 10B-HD ：10BaseT Half Duplex

タイムゾーン

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。（例：日本　UTC+09:00）ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

1 [メニュー / セット] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。

2 [5] LAN を押します。
[↑] または [↓] ボタンでも選択可能です。

`5. LAN`

3 [2] ソノタセッテイ、[2] タイムゾーンの順に選択します。

`2. ﾀｲﾑ ｿﾞｰﾝ`

4 [↑] または [↓] ボタンでタイムゾーンを設定します。
ボタンを押すごとに 30 分ずつタイムゾーンが増減します。

`UTC+09:30`

5 [メニュー / セット] ボタンを押します。
タイムゾーンが登録されます。

`ｳｹﾂｹﾏｼﾀ`

6 [停止 / 終了] ボタンを押します。
設定メニューを終了します。



UTC（協定世界時）について
GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時間のことで、1972 年 1 月 1 日より使用されています。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

LAN 設定内容リストの出力

この機能を使うことで、現在の設定を全てプリントアウトすることができます。ネットワークの設定は、このレポートの 2 ページ目となっています。



[メニュー / セット] ボタンを押します。
選択メニューが表示されます。



[7] レポートインサツを押します。
[↑] または [↓] ボタンでも選択可能です。

7. レポ゚ートインサツ



[8. LAN セッテイナイヨウリスト] を選択します。

8. LAN セッテイナイヨウリスト



[モノクロスタート] ボタンまたは [カラースタート] ボタンを押します。

ネットワーク設定の初期化

この機能を使うことで、現在のネットワーク設定を全て初期化することができます。ただし、初期化時に本機は再起動されます。

1 **[↑] と [↓] ボタンを同時に押します。**
選択メニューが表示されます。

LAN セッテイ ショキカ

2 **[1] スルを押します。**
[2] ボタンを押すと、設定画面へ戻ります。

1. スル　2. シナイ

3 **数秒後に本機が再起動され、初期化されます。**

オマチクダサイ

第 6 章

ネットワークインターフェースの設定

概要

TCP/IP プロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。
この章では、ネットワークインターフェースの IP アドレスの設定方法について説明します。

IP アドレスの設定



IP アドレスの自動設定機能（APIPA）
APIPA プロトコルを使用していると、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。
APIPA を使用不可に設定する場合は、「APIPA」P.5-12を参照してください。
デフォルトでは、APIPA プロトコルは使用可能に設定されています。

APIPA を使用しない場合のブラザーネットワークインターフェースの初期設定の IP アドレスは 192.0.0.192 です。ブラザーネットワークインターフェースの初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- BRAdmin Professional（TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 98/Me/2000/XP 用）を使用する。P.6-3
- DHCP を使用して自動的に設定する。P.6-3
- APIPA を使用して自動的に設定する。P.6-4
- Reverse ARP （rarp）を使用する。P.6-4
- BOOTP を使用する。P.6-5
- 操作パネルを使用する。P.5-1

上記の設定方法について、以降のセクションで説明します。
ネットワークインターフェースに割り当てる IP アドレスは、ホストコンピュータと同じネットワーク上にある場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ホストコンピュータと同じネットワーク上にない場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

IP アドレスの設定方法

BRAdmin Professional を使用する



BRAdmin Professional は、Windows® 98/Me/2000/XP 専用です。



BRAdmin Professional では、ブラザーネットワークインターフェースとの通信に TCP/IP プロトコルを使用して、IP アドレスを変更することができます。ブラザーネットワークインターフェースの初期設定の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。工場出荷時の設定では、APIPA の機能が有効になっています。

詳細は、「BRAdmin Professional を使用してネットワークインターフェースの設定をする」P.2-3 を参照してください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワークに DHCP サーバがある場合は、その DHCP サーバからネットワークインターフェースに自動的に IP アドレスが割り当てられ、RFC1001 および 1002 準拠の動的名前サービスを使用して、その名前が登録されます。



DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。BRAdmin Professional または操作パネルを使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。

APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバが利用可能ではない場合は、IP アドレスの自動設定機能（APIPA）で DHCP クライアントの IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。自身の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは 0. 0. 0. 0 に自動的に設定します。
初期設定では、APIPA プロトコルは使用可能に設定されています。

RARP を使用する

ホストコンピュータで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、ネットワークインターフェースの IP アドレスを設定することができます。

00:80:77:31:01:07 BRN_310107

最初のエントリは、ネットワークインターフェースのイーサネットアドレスで、2 番目のエントリはネットワークインターフェースの名前です。この名前は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません。

rarp デーモンが実行されていない場合は実行します。このコマンドは、使用しているシステムによって、rarpd、rarpd-a、in.rarpd-a などと、少しずつ異なります。詳細は、man rarpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルを参照してください。

本機の電源を On にすると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

BOOTP を使用する

RARP の代わりに BOOTP を使用すると、IP アドレスだけでなく、サブネットマスクとゲートウェイも設定できます。
BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の /etc/services ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpd と入力するか、ご使用のシステムのマニュアルを参照してください。
通常、BOOTP は /etc/inetd.conf ファイルを使用して起動されますので、このファイルの bootp エントリの行頭にある # を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な /etc/inetd.conf ファイル内の bootp エントリを、次に示します。

#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i



システムによって、このエントリには bootp ではなく bootps が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディタを使用して行頭の # を削除します。# がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェースの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、イーサネットアドレス、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、ご使用のシステムのマニュアルを参照してください。
一般的な /etc/bootptab エントリの例を、次に示します。

BRN_310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
および
BRN_310107:ht=ethernet:ha=008077310107:
ip=192.189.207.3:

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、ネットワークプリンタの電源をオンにすると、BOOTP サーバから IP アドレスが割り当てられます。

第 7 章

トラブルシューティング

概要

ネットワークインターフェースを使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を下記の 3 つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- インストールについての問題P.7-3
- プロトコル固有の問題P.7-5
- その他の問題P.7-6

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。

1 本機がオンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。



LAN 設定内容リストを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。「LAN 設定内容リストの出力」P.5-15を参照してください。

LAN 設定内容リストが正常に印刷されない場合は、以下を確認してください。

a. 本機に接続しているネットワークケーブルを外し、再度接続してください。このとき、操作パネルに数秒間「LAN セツゾクアクティブ」と表示されます。
表示されない場合は、ネットワーク設定に異常がある可能性があります。

b. この場合は、ネットワークインターフェースを工場出荷時の初期設定にリセットします。詳しくは、「ネットワーク設定の初期化」P.5-16を参照してください。その後で、LAN 設定内容リストを印刷します。

2 設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次のどの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. **TCP/IP を使用している場合**
コンピュータから次のコマンドを実行し、ネットワークインターフェースへの ping を確認します。

Ping ipaddress

ipaddress はネットワークインターフェースの IP アドレスです。
ネットワークインターフェースに IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」P.7-5の各トラブルシューティングへ進みます。
例） **C:¥Ping 192.168.0.53**

```
Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.0.53:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答が返らない場合は、手順3を確認した後で、「TCP/IPのトラブルシューティング」P.7-5へ進みます。

  例） **C:¥Ping 192.168.0.53**

  Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

  Request timed out.
  Request timed out.
  Request timed out.
  Request timed out.

  Ping statistics for 192.168.0.53:
  Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
  Approximate round trip times in milli-seconds:
  Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

3 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認します。

a. 本機がオンラインになっていることを確認します。
b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。<Network Statistics> セクションに <Packets Received> でデータがあるかどうかを調べます。

4 リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにします。
他のハブを使用している場合やリピータマルチポートの場合は、ネットワークインターフェースを別のポートや他のハブ、またはマルチリピータで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかを確認します。

5 ネットワークインターフェースとホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストからネットワークインターフェースへのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。
例えば、ブリッジは特定の IP アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。ネットワークインターフェースの IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。ネットワークインターフェースで使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

プロトコル固有の問題

TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IP を使用してネットワークプリンタに正しく印刷できない場合は、次の項目をチェックします。



設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。

- 本機の電源を入れ直す。
- ネットワークプリンタの設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

- ネットワークインターフェースに IP アドレスが正しくロードされていることを確認します。「LAN 設定内容リストの出力」P.5-15を参照してください。
- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。TCP/IP 印刷の問題で最も多い原因は IP アドレスの重複です。

2 TCP/IP プロトコルがネットワークインターフェースで使用する設定になっていることを確認します。

3 rarp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- ワークステーションで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デーモンを起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しいイーサネットアドレスが記述されていることを確認します。
- ノード名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

4 bootp を使用した場合は、次の項目を確認します。

- bootp が有効になっていることを確認します。

5 ホストコンピュータとネットワークインターフェースが、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルータが設定されていることを確認します。

LPR (BLP) での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 98/Me で、LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1 「LPR（BLP）で印刷する」P.2-10の説明にしたがって、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。

2 プリンタドライバのプロパティの［ポートの設定］でバイトカウントを有効にします。

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

その他の問題

その他に問題が発生する場合は、次の項目をチェックします。

1 容量の小さいジョブは正しく印刷でき、容量の大きいグラフィックジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの容量や、最新のプリンタドライバがコンピュータにインストールされているかどうかを確認します。
プリンタの最新ドライバは、**http://solutions.brother.co.jp** からダウンロードできます。

2 その他、まれに発生する問題の原因は、各プロトコル別のトラブルシューティング「プロトコル固有の問題」P.7-5を参照してください。

第 8 章
付録

一般情報

ネットワークインターフェースの設定を変更するには、次の方法を使用します。

- ブラザー BRAdmin Professional（Windows® 98/Me/2000/XP）

BRAdmin Professional（推奨）

ブラザー BRAdmin Professional では、TCP/IP または IPX/SPX プロトコルを使用することができます。

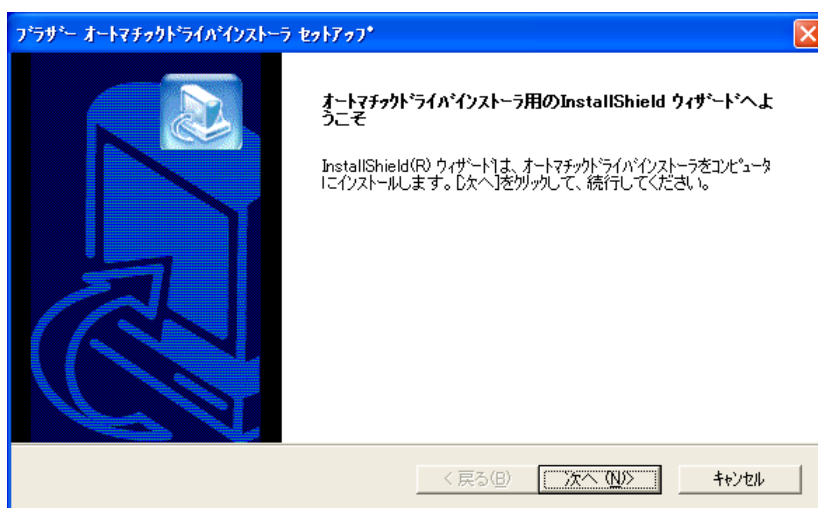
ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。また、ネットワークインターフェースのファームウェアのアップデートにも使用できます。

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。USB、ネットワーク、それぞれの接続毎にオリジナルドライバを作成でき、ユーザに配布することができます。配布インストーラは、OS 毎の作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（USB 接続およびピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアは Windows® 専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows® 98/Me/2000/XP

同梱の CD-ROM 内の「インストール」メニューの「ネットワーク管理用ソフトウェア」から「オートマチックドライバインストーラ」を起動します。画面の内容をよくお読みになり指示にしたがってください。




本機ではパラレルポートおよび IPP は未サポートです。

サービスの使用

ネットワークプリンタが同一ネットワーク上に接続されたコンピュータに提供する印刷リソースをサービスと呼びます。
ネットワークには、次の定義済みサービスが用意されています。ネットワークのリモートコンソールで SHOW SERVICE コマンドを実行すると、使用可能なサービスのリストが表示されます。
コマンドプロンプトで HELP と入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリサービス
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス（LF の後に CR を追加）
BRN_xxxxxx_P1	NetWare サービスおよび Mac OS® 10.2.4 以降の簡易ネットワーク設定サービス（TCP/IP バイナリサービスでも使用可能）

xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です（BRN_310107_P1 など）。

ネットワークインターフェースのファームウェアのアップデート

概要

本機のファームウェアは、フラッシュメモリに格納されています。そのため、適合するアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップデートを行うことができます。最新のファームウェアアップデートファイルを入手する場合は、下記の URL を参照してください。
ブラザーソリューションセンター **http://solutions.brother.co.jp**



用意されているソフトウェアバージョンによっては、新しい機能をネットワークインターフェースに追加するために、ネットワークインターフェースの設定が自動的に工場出荷時の設定にリセットされることがあります。そのため、ファームウェアのアップデートを実行する前に LAN 設定内容リストを印刷し、ネットワークインターフェースの現在の設定を必ず記録に残しておいてください。「LAN 設定内容リストの出力」P.5-15を参照してください。

ファームウェアのアップデート方法

BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional を使用すると、ファームウェアを簡単にアップデートできます。

1 BRAdmin Professional を起動します。

2 目的のネットワークプリンタを選択します。

3 ［コントロール］メニューの［ファームウェアのロード］を選択します。
複数のネットワークインターフェースを選択するには、<CTRL> キーまたは <SHIFT> キーを押したまま、必要なネットワークインターフェースを選択します。

4 次の方法で、新しいファームウェアアップデートファイルをネットワークインターフェースに送ります。
このとき、ネットワークインターフェースのパスワードを入力する必要があります。ネットワークインターフェースの初期設定のパスワードは access です。

● **TFTP PUT（ホストから）**
コンピュータに TCP/IP がすでに存在する場合は、この方法を使用してください。
BRAdmin Professional は TFTP プロトコルで新しいファームウェアアップデートファイルをネットワークインターフェースに送ります。

ファームウェアのアップデート時の注意

プログラムが終了すると自動的に本機が再起動します。再起動が完了するまで、絶対に本機の電源を切らないでください。

約 2 分経過しても再起動しない場合は、入力したパラメータが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。もう一度本機の電源を入れ直し、ダウンロードを実行します。



ファームウェアのアップデートで問題が発生し、本機のネットワーク関連機能が動作していない場合は、再度ファームウェアのアップデートを実行する必要があります。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 PC-FAX
第5章 パネル
第6章 ネットワーク
第7章 トラブル対応
第8章 付録
索引

用語集

● ARP

Address Resolution Protocol の略です。
TCP/IP プロトコルにおいて、IP アドレスの情報から MAC アドレスを調べて通知するプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略です。
TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンにおいて IP アドレスやホスト名、ドメイン名などのパラメーターをサーバから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。

● BRAdmin Professional

BRAdmin Professional は、Windows® 98/Me/2000/XP の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。
ネットワークに接続されているブラザープリンタを設定し、そのステータスを確認することができます。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol
動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク上の IP アドレスを動的かつ自動的に割り当て管理するプロトコル。
BOOTP の拡張版で、DHCP サーバは DHCP クライアントの要求に応じて IP アドレスを割り当て、サーバとクライアント間の通信には BOOTP を使用する。
メッセージのフォーマットやプロトコルは、BOOTP とほぼ同じ。

● DNS

Domain Name System の略です。
TCP/IP ネットワークで使用されるネームサービスです。クライアントは DNS サーバ内のホスト名と IP アドレスの対応関係を記述したデータベースを参照することで、ホストの名前を指定してネットワークにアクセスできるようになります。

● FTP

File Transfer Protocol の略です。
ファイル転送プロトコルで、TCP/IP プロトコルの一つです。ネットワークにログインし、ファイルの表示や転送を行う目的で使用されます。

● IP アドレス

IP プロトコルで使用するための 32bit（IPv4）のアドレスで、ネットワーク自体やネットワーク上のノードを特定する論理番号のことです。

● LAN Server

Local Area Network Server の略です。
LAN 上でプリンタ、ファイルなどの資源を共有するためのサーバです。

● LPR ポート

lpr は、プリント・キューに存在するプリント・ジョブを、printcap ファイルで指定されたプリンタに印刷する要求を行うためのポートです。UNIX に接続されたプリンタに印刷するために、広く使われています。

● RARP

ARP プロトコルとは逆に、自ノードの MAC アドレスから「自分の」IP アドレスを求めるためのプロトコルです。

● TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル / インターネットプロトコル）の略です。
インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路に関するプロトコル（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは、TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

● イーサネットアドレス (MAC アドレス)

イーサネット機器が持つ 6 バイトのアドレスです。ISO/OSI モデルの物理層およびデータリンク層で機能します。イーサネットアドレスは機器内部に記憶されているので、ユーザが変更することはできません。

● サブネットマスク

IP アドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことです。IP アドレスとサブネットマスクを AND すると、サブネットアドレスになります。

● ルータ

ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

索　引